

平成23年度 第2回 山形県立図書館協議会次第

平成24年3月2日(金)

13:30～15:00

遊学館 2階 第5研修室

一 開 会

二 あいさつ

山形県教育庁 生涯学習振興課長

山形県立図書館長

山形県立図書館協議会委員長

三 議 題

1 平成23年度運営の状況について

(1) 所蔵資料について

(2) 利用状況について

(3) 事業実施状況について

(4) 利用者満足度調査、県民アンケート調査の結果について

(5) 当面推進すべき重点施策(案)について

2 平成24年度運営方針等について

(1) 運営方針(案)について

(2) 事業計画について

(3) 予算案について

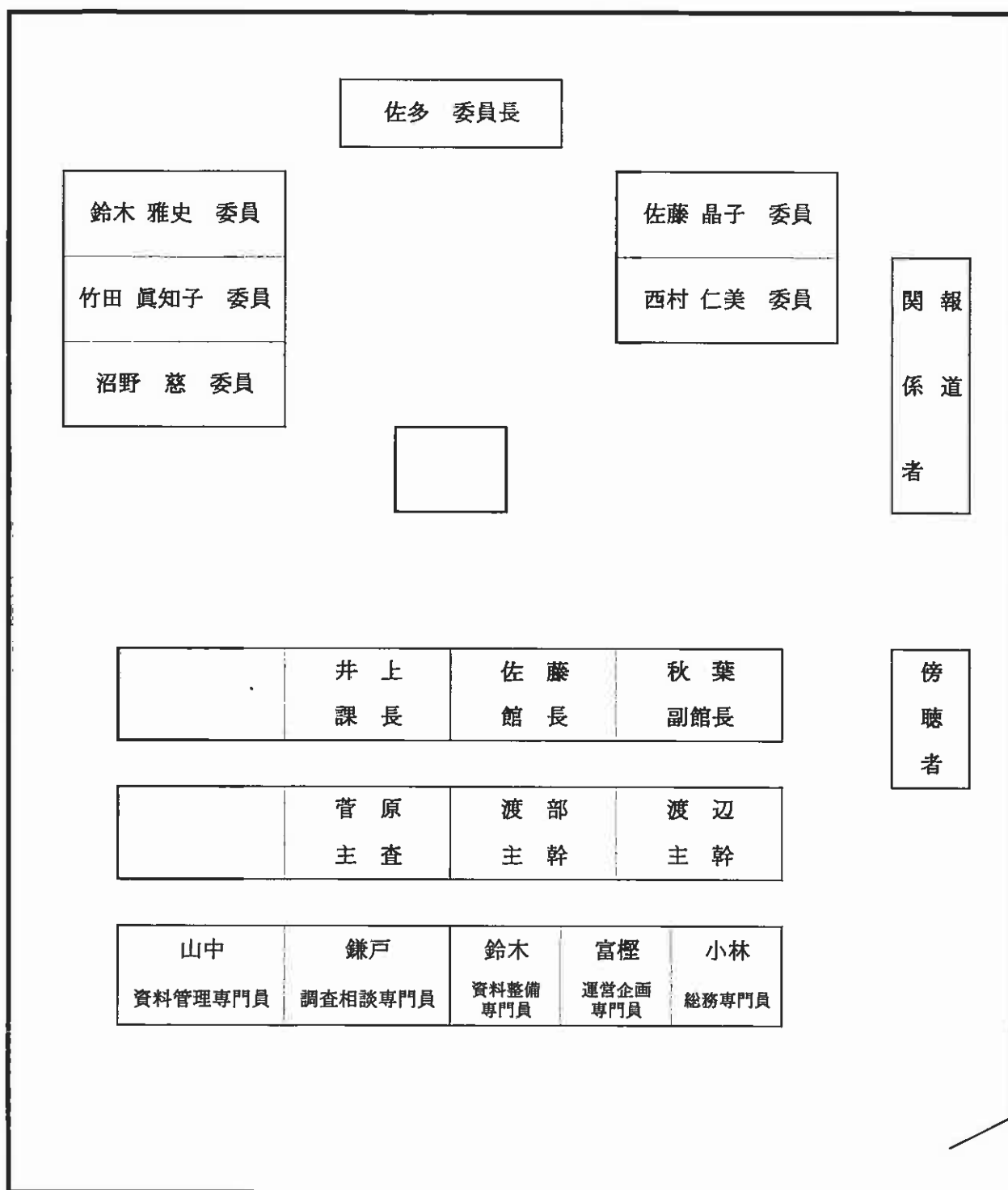
3 その他

四 その他

五 閉 会

山形県立図書館協議会席次表

(遊学館 2階 第5研修室)



佐多 委員長

鈴木 雅史 委員

竹田 真知子 委員

沼野 慈 委員

佐藤 晶子 委員

西村 仁美 委員

関 報
係 道
者

	井 上 課 長	佐 藤 館 長	秋 葉 副館長
--	------------	------------	------------

	菅 原 主 査	渡 部 主 幹	渡 辺 主 幹
--	------------	------------	------------

山 中	鎌 戸	鈴 木	富 樫	小 林
資料管理専門員	調査相談専門員	資料整備 専門員	運営企画 専門員	総務専門員

傍
聴
者

傍聴者受付

山形県立図書館協議会委員

任期 平成23年5月25日～平成25年5月24日

(敬称略)

氏 名	役 職	備 考
佐 多 不 二 男	東北文教大学教授	
佐 藤 晶 子	元 月刊「SPOON」編集長	
鈴 木 雅 史	山形新聞社報道部副部長	
孫 誌 銜	山形県立米沢女子短期大学准教授 (日本図書館情報学会所属)	
竹 田 眞 知 子	山形県高等学校文化連盟会長 (山形県立山形北高等学校長)	
西 村 仁 美	山形県学校図書館連絡協議会会長 (山形市立高楯中学校長)	
沼 野 慈	特定非営利活動法人NPOもがみ理事長	

50音順

1 平成23年度図書館運営の状況について

(1) 所蔵資料について

(平成23年12月末現在)

- ・平成23年12月末の総資料数は766,843点で、22年度末と比較し12,059点(1.60%)増加した。
(内訳:図書15,761冊増、逐次刊行物3,934冊減、視聴覚資料32点増、新聞合本100冊増、マイクロフィルム及び複製画については増減なし)
- ・所蔵資料(図書、逐次刊行物)の分類別の割合を見てみると、社会科学(19.2%)、郷土資料(16.6%)、文学(14.7%)の順となっている。
- ・減少した資料の内訳を見ると、逐次刊行物の社会科学、総記の除籍が多い。

(単位:冊、点)

		平成22年度末蔵書数			増加(登録数)			減少(除籍・移動数)			平成23年12月末蔵書数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総記	21,235	25,608	46,843	447	955	1,402	1	2,453	2,454	21,681	24,110	45,791
1	哲学・宗教	25,181	2,405	27,586	697	48	745	4	254	258	25,874	2,199	28,073
2	歴史・地誌	51,303	4,950	56,253	1,774	146	1,920	16	430	446	53,061	4,666	57,727
3	社会科学	111,775	30,157	141,932	2,981	934	3,915	15	3,296	3,311	114,741	27,795	142,536
4	自然科学	34,380	8,187	42,567	1,250	236	1,486	2	344	346	35,628	8,079	43,707
5	技術・工学	38,185	12,239	50,424	1,925	415	2,340	5	606	611	40,105	12,048	52,153
6	産業	35,317	9,275	44,592	874	245	1,119	2	224	226	36,189	9,296	45,485
7	芸術	33,751	11,455	45,206	868	521	1,389	6	89	89	34,613	11,893	46,506
8	言語	11,420	984	12,404	217	23	240	3	11	14	11,634	996	12,630
9	文学	93,738	13,259	106,997	2,068	263	2,331	13	186	199	95,793	13,336	109,129
	小計	456,285	118,519	574,804	13,101	3,786	16,887	67	7,887	7,954	469,319	114,418	583,737
K	郷土資料	101,964	19,340	121,304	1,687	718	2,405	1	451	452	103,650	19,607	123,257
Z	児童	29,964	0	29,964	1,011	0	1,011	5	0	5	30,970	0	30,970
P	紙芝居	925	0	925	32	0	32	0	0	0	957	0	957
F	洋図書	4,377	0	4,377	3	0	3	0	0	0	4,380	0	4,380
	蔵書冊数	583,515	137,859	731,374	15,834	4,504	20,338	73	8,338	8,411	609,278	134,025	743,301

視聴覚資料(点)	10,557	36	4	10,589
----------	--------	----	---	--------

新聞合本(冊)	7,194	100	0	7,294
マイクロフィルム(点)	5,557	0	0	5,557
複製画(点)	102	0	0	102

資料数合計	754,784	20,474	8,415	766,843
-------	---------	--------	-------	---------

(2) 利用状況について

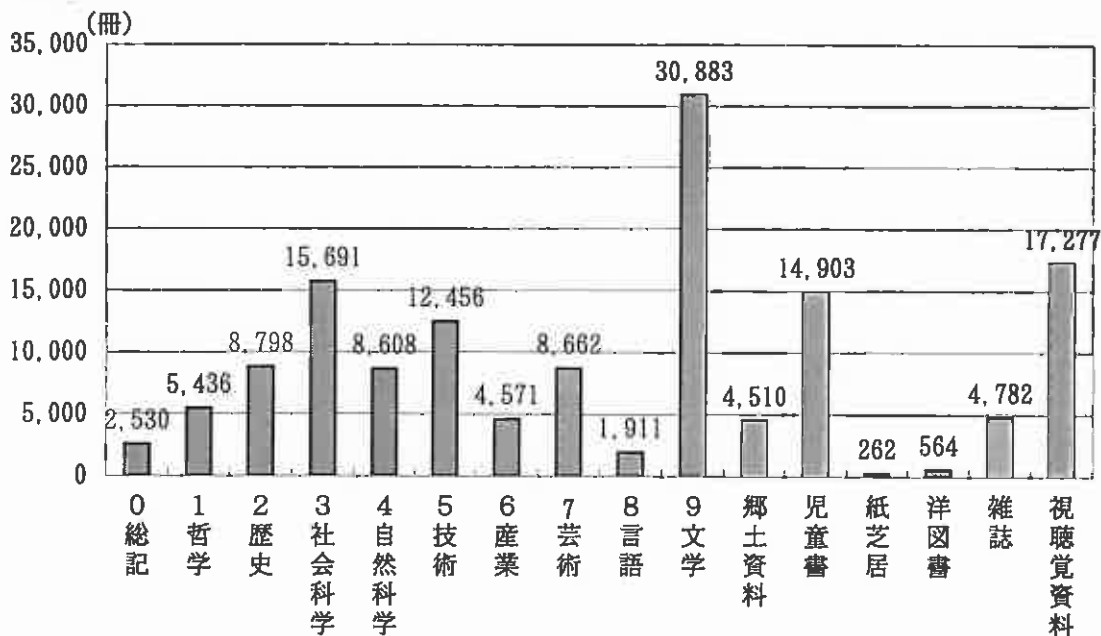
① 入館者数・新規登録者数・館外貸出資料数

新規登録者数は前年並みとなっているが、入館者数と館外貸出資料数は若干減少している。

区分	開館日数 (日)	入館者数 (人)		新規登録者数(人)		館外貸出資料数(冊)	
		総数	1日平均	総数	1日平均	総数	1日平均
22年度	222	169,382	763.0	2,067	9.3	138,955	625.9
23年度	220	156,609	711.9	2,040	9.3	133,842	608.4
対前年度比	99.1%	92.5%	93.3%	98.7%	100.0%	96.3%	97.2%

② 分類別個人貸出資料数

個人貸出資料数を分類別にみると、多いものから①文学、②視聴覚資料、③社会科学、④児童書等の順であり、例年とほぼ同じ傾向となっている。



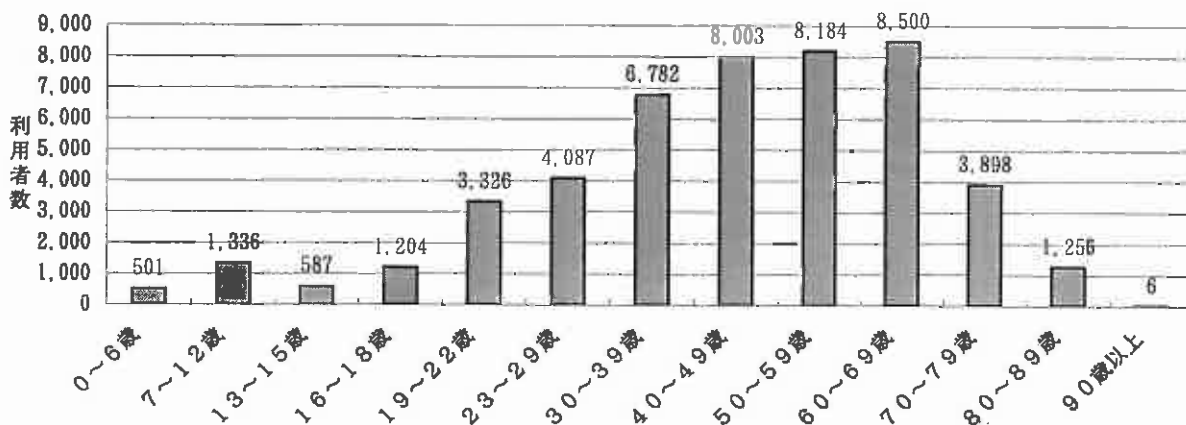
③ 個人貸出資料数の年齢構成

利用者の年齢構成を見てみると30～50代が約半数を占め、0～20代と60代以上がそれぞれ残りの半数を占めている。

前年度と比べると、60代以上の利用者の割合が若干増加している。

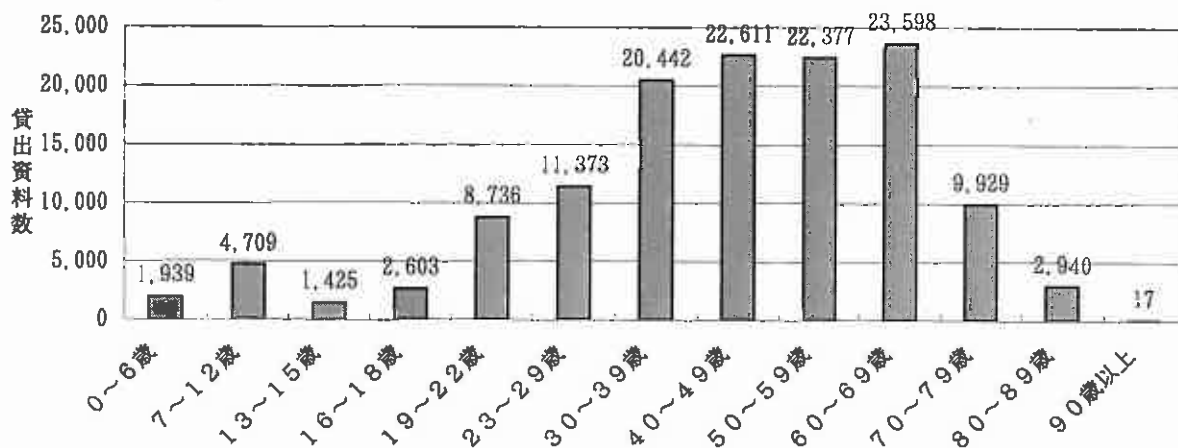
・利用者

区分	利用者数 (人)				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
22年度	10,687	22,729	12,096	1,424	46,936
構成比	22.8%	48.4%	25.8%	3.0%	100.0%
23年度	11,041	22,969	13,660	2,318	49,988
構成比	22.1%	46.0%	27.3%	4.6%	100.0%



・貸出資料数

区分	貸出資料数 (冊)				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
22年度	33,146	71,189	35,556	9,283	149,174
構成比	22.2%	47.7%	23.9%	6.2%	100.0%
23年度	30,785	65,430	36,484	9,145	141,844
構成比	21.7%	46.1%	25.7%	6.5%	100.0%



④ 図書館間での貸出資料数

図書館間での貸出資料数については、一括特別貸出は大幅に増えたが相互貸借が3割近く減ったため合計で約15%の減少となっている。
また、借受資料数は6%減少している。

区分	図書館間貸出			図書館間借受
	相互貸借	一括特別	計	
22年度	4,904	1,310	6,214	400
23年度	3,546	1,714	5,260	376
対前年度比	72.3%	130.8%	84.6%	94.0%

⑤ インターネット予約資料数

平成19年10月から開始したインターネット予約資料数は着実に増加してきており、今年度も前年度と比べて15%程度伸びている。

22年度	5,625
23年度	6,495
対前年度比	115.5%

⑥ 調査相談受付件数

調査相談受付件数は前年度と比べて約15%の減少となった。

区分	口頭	電話	文書	メール	計	一日平均
22年度	4,851	684	118	323	5,976	26.9
23年度	4,201	385	190	282	5,058	23.0
対前年度比	86.6%	56.3%	161.0%	87.3%	84.6%	85.5%

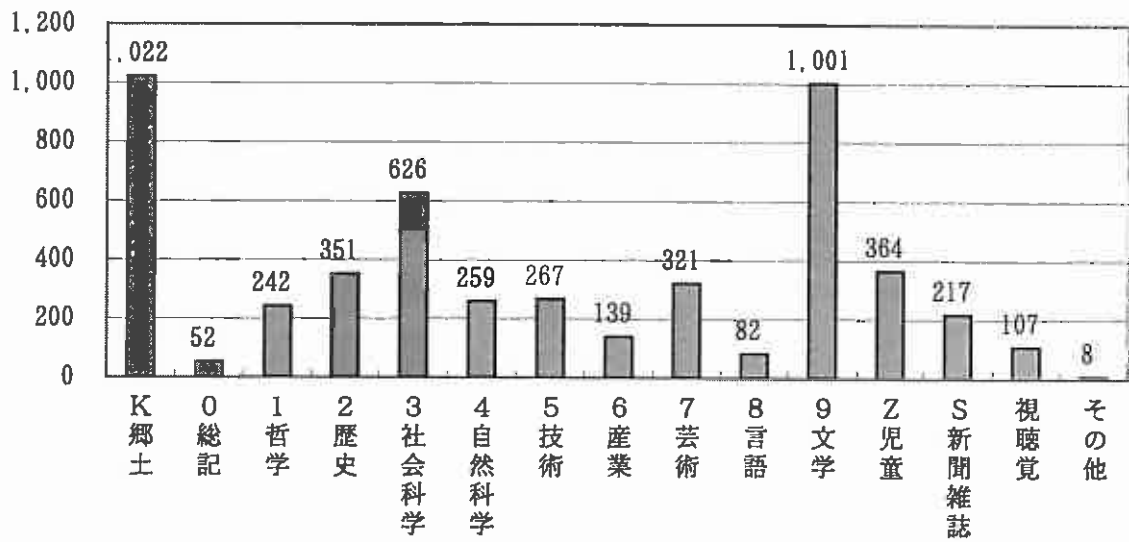
⑦ 調査相談内容別受付件数

調査相談受付件数を内容別にみると、文献調査が増加し、その他は減少となった。

区分	所蔵	事実	書誌	文献	複写	案内	計
22年度	4,828	416	56	199	247	230	5,976
23年度	4,328	178	10	247	245	50	5,058
対前年度比	89.6%	42.8%	17.9%	124.1%	99.2%	21.7%	84.6%

⑧ 調査相談分類別受付件数

調査相談受付件数を分類別にみると、多いものから①郷土、②文学、③社会科学、④児童、⑤歴史等の順となり、例年とほぼ同じ傾向となっている。



(3)事業実施状況について

<1 企画展示等>

① 読書週間企画展

区分	春のこどもの読書週間企画展	秋の読書週間企画展		計
テーマ	親子で楽しもう！季節の行事	2010～2011 県内出版物展	生誕 130 周年折下吉延 特別展	
期間	4/19～5/14	10/18～11/13		
実日数	23	24		47
展示冊数	327	1,253	—	1,580
貸出総数	禁貸出	禁貸出	—	—

② テーマ別企画展

一般向け展示

区分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	計
テーマ	地球そして宇宙 を見てみよう	暮らしを見つめ て	敬老の日 読書のすすめ	知識・知恵を得 るために・・・	若い人に贈る本 2011 年文学賞 等受賞作品	
期間	6/11 ～7/10	7/23 ～8/20	9/10 ～10/9	12/3 ～1/8	2/21 ～3/20	
実日数	25	25	25	26	24	125
展示冊数	270	268	324	322	未確定	(1,184)
貸出総数	154	381	480	399	未確定	(1,414)

児童向け展示

区分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	計
テーマ	なつの絵本	なつやすみ特集	あきの絵本	ふゆの絵本	はるの絵本	
期間	6/11 ～7/10	7/12 ～8/20	9/10 ～10/9	12/3 ～1/8	2/21 ～3/20	
実日数	25	34	25	26	24	134
展示冊数	203	206	240	227	未確定	(877)
貸出総数	198	158	217	279	未確定	(852)

※ 「なつやすみ特集」の展示資料のうち、課題図書・自由研究の本は期間中貸出不可。

その他の展示

	ビジネス支援 図書展示	震災関連図書・ 雑誌展示	丸谷オ一文化勲章 受章特別展示	山形県児童文学・絵本作家紹介		ヤングアダ ルトおすすめ本	計
				2009～2010 出版	2010～2011 出版		
期間	8/6～	7/14～9/7	11/1～11/30	4/6～1/17	1/28～	通年	
実日数	199	48	26	232	53	285	558
展示冊数	150	331	178	63	61	110	(893)
貸出総数	247	179	69	—	—	803	(1,298)

※ビジネス支援・ヤングアダルトの展示冊数及び貸出総数は24年1月末時点。

③ 出前展示

山形県等主催の下記イベント事業の会場に、関連する図書資料 135 点を持参し展示。

イベント名 「子育て応援団 すこやか 2011」

期 日 6月25日(土)～6月26日(日)

場 所 山形国際交流プラザ

主 催 子育て応援団実行委員会、山形新聞・山形放送 山形県 山形市

④ NHK山形放送局「やまモリ!『ぴっくあっぷブック～今回のおすすめ本～』

時期にあわせたおすすめ本3冊の紹介に加えて、図書館のイベント・企画展も広報。

毎月第4木曜日、午前 11 時 45 分からの生放送。5月から1月まで9回実施。

<2 県立図書館読書活動推進事業費>

1 目的

この事業は、絵本をきっかけとした諸取組みを展開することにより、本好きな子どもを育成し、子どもの読書活動を推進するための動機付けとする。

2 概要

(1) 原画展

(財)生涯学習文化財団が主催した絵本作家講演会『絵本と鳥の巣のふしぎ』とタイアップし、当該講演会の講師である絵本作家「鈴木まもる」氏の絵本原画とした。

- ① 開催期間 平成 23 年 10 月 27 日 (木) ~ 11 月 9 日 (水) 2 週間
- ② 開催場所 遊学館内 1F ギャラリー 他
- ③ 展示物 ・絵本原画 (15 作品、 40 点) ・絵本 (59 冊) ・鳥の巣 (実物、 7 点)
・鳥の巣 (壁掛け、 2 点) ・デッサンノート他
- ④ 入場者数 1,308 人

鈴木まもる氏 (絵本作家・鳥の巣研究家)

1952 年東京都生まれ。現在は静岡県下田市に在住。

1980 年に絵本「ぼくの大きな木」で絵本作家デビュー。「黒ねこサンゴロウ」シリーズで赤い鳥さし絵賞 (1995 年)、「ぼくの鳥の巣絵日記」で講談社出版文化賞絵本賞 (2006 年) 受賞。

絵本作家であると同時に、鳥の巣研究家としても知られている。

(2) 手づくり絵本コンクール

県民から手づくり絵本の創作を募集し、審査により優秀作を選定・表彰することにより、子ども読書活動推進を側面から支援を行った。

① 講習会

- ・開催期日及び場所 平成 23 年 7 月 31 日 (日) 遊学館内
- ・講師及び参加人数 村山市立図書館 業務主査 奥山典子氏 14 人 (親 10 人、子 4 人)

② 応募・選考等

- ・募集期間 平成 23 年 8 月 15 日 (月) ~ 9 月 9 日 (金)
- ・応募条件 サイズ: A 5 ~ A 3 ページ数: 8 ~ 20 未発表のもの
- ・応募総数 111 点 (幼児・児童の部 :100 点 生徒の部 :11 点)
- ・表彰 幼児・児童の部: 最優秀賞 1 点 優秀賞 2 点 佳作 3 点
生徒の部 : 最優秀賞 1 点 優秀賞 1 点 佳作 2 点
- ・選考委員 児童文学評論家赤木かん子氏ほか 3 人の学識経験者
- ・蔵書 最優秀賞作品は、製本のうえ県立図書館や県内公共図書館に蔵書として配備

③ 表彰式・発表会

- ・開催期日及び場所 平成 24 年 2 月 9 日 (木) 山形ビッグウイング内
「山形県子ども読書活動推進フォーラム」において実施
- ・発表者 幼児・児童の部 : 「ハエたろうのぼうけん」 酒田市立北平田小 5 年 鍋谷真菜
[最優秀賞受賞者] 生徒の部 : 「ポロロとシロのたくはいびん」 山形県立山形北高 3 年 伊藤千尋

(5) 山形県立図書館 当面推進すべき重点施策(案)

「これからの図書館像(報告)」(平成18年3月)及び図書館法の一部改正(平成20年6月)等を踏まえ、より県民の役に立つ『地域を支える情報拠点』を目指して、当面(2～3年程度)、以下の施策を重点的に推進することとする。

I 全県域の県民に向けた情報発信

1. 図書館活動の意義の理解の促進

図書館を利用しない県民に対し、図書館サービスの内容や図書館の活用方法等について周知し、利用を働きかける。

県立図書館のサービスが県民にあまりよく知られていないことから、来館しなくても利用できる広域サービスを中心として県内に周知を図り、利用を促進する。

事業等の広報活動を強化するとともに、館の運営状況等に関する情報を積極的に公開し、県民の理解を促進する。

(取組方針)

(1) マスコミへの情報提供

事業の実施等の際には必ずマスコミに情報提供し、マスコミの協力を得て、県立図書館が県民の目・耳に触れるようにする。

(2) 図書館サービスの県民への周知

市町村立図書館及び総合支庁等の協力を得て、相互貸借、インターネット予約貸出、遠隔地返却等の広域サービスの内容や、図書館の活用法に関するPR資料、県立図書館の利用案内等を配布し、県民に周知する。

(3) 図書館運営状況の公開

ホームページにより、企画展示その他の事業について広報するとともに、サービスの利用状況、会議、各種調査結果、諸規程等、館の運営に関する情報を積極的に公開する。

(4) 関係機関との連携

県関係機関、特に県生涯学習文化財団との連携(事業の共催・後援等)を強化し、事業実施時に図書館に関する資料を配付する等のPRを行う。

2. 課題解決支援機能の充実

県民の生涯学習や課題解決を支援するため、「県立」としての立場から、山形県関係の郷土資料、行政資料は重点的に収集するとともに、大きな社会問題に関する資料等も積極的に収集し、展示コーナーの設置等より効果的に県民に提供する。

また、これらの情報はホームページを用いて広く発信するとともに、県民がホームページを利用して自ら文献検索や調査を行うことができるよう、パスファインダーの整備やリンク集の充実等に努める。

(取組方針)

(1) 図書・資料の収集、保存、提供

「資料収集方針」によるほか、次の図書・資料は重点的に収集する。

① 郷土資料、行政資料

山形県に関する郷土資料、県内行政機関が発行する行政資料等は網羅的に収集・保存し、山形県に関する課題解決に役立つ資料情報としての的確に提供する。

② 社会情勢の変化に伴う地域課題、生活課題等に関する資料

少子化、高齢化、経済の停滞等、社会情勢の変化に伴う課題・問題に対応するため、子育て支援、医療・健康・福祉、ビジネス支援等に関する資料を積極的に収集、提供する。

また、東日本大震災、福島原発事故のように、突発的な大きな社会問題等が生じた場合には、時期をはずさずに関係の図書・資料を収集し適切な情報提供を行う。

(2) 展示コーナーの設置等による情報提供

上記(1)の図書・資料の提供は、利用者が有効活用できるよう、展示コーナーを設置し、展示リストを作成するなど、付加価値を高めて行う。

また、県民誰もが情報を入手できるよう、展示コーナーの状況や展示リストについては、ホームページに掲載する。

(3) レファレンスサービスの充実と利用促進

館内表示や非来館者向けの図書館PRの中でレファレンスサービスについて周知するとともに、職員のレファレンス対応能力向上のため、館内研修や外部研修への派遣を積極的に行う。

(4) 県民が主体的に情報を入手できる環境づくり

① ホームページ活用方法の周知

ホームページを効果的に利用することにより多くの情報を入手できることから、ホームページの活用方法について随時チラシを作成する等により周知する。

② 郷土関係レファレンス事例の充実

県関係情報の全国発信と利用者の利便の向上を図るため、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに積極的に登録する。

③ パスファインダーの整備

パスファインダー（特定のテーマについて調べる際の調べ方案内）を作成し、利用者の主体的な調査研究の利便に供する。

3. 紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリッド図書館の整備

利用者が自宅パソコンや携帯電話から多様な情報源を利用できるよう、ホームページの内容の充実を図る。

併せて今後は、行政機関が発行する電子情報の整理・保存、貸出のできない貴重資料のデジタル・アーカイブ化、電子書籍への対応等に向けた検討を行う。

(取組方針)

(1) 行政機関が発行する電子情報の提供方法等

行政機関、特に県が電子情報のみで発行する統計資料等の整理・保存・提供のあり方について検討する。

(2) 貴重資料の提供方法等の検討

古地図、絵画等、貸出のできない貴重資料について、デジタル・アーカイブ化等提供方法について検討する。

(3) 電子書籍への対応

国立国会図書館のデジタル化資料の公立図書館での活用に向けた国の検討が進められているので、当面その動向を注視する。

(4) 雑誌書誌情報の充実

雑誌については、その時々に関心が高い内容が多いので、利用者が目的の記事を容易に検索できるよう、目次や特集記事等書誌情報を充実する。

また、現在行っている過去受入分も含めた郷土雑誌の目次入力を継続する。

II 子どもの読書活動の推進

1. 児童・青少年サービスの充実

第5次山形県教育振興計画後期プラン、山形県子ども読書活動推進計画等を踏まえ、児童サービスの充実を図る。

(取組方針)

(1) ヤング・アダルトサービス

一層の普及を図るため、ヤング・アダルトコーナーの展示を新着本中心に改め、新たに推薦本を紹介するリーフレット「GATE BOOK」を定期的に作成する。

(2) 手づくり絵本コンクールの充実

平成23年度から実施した「手づくり絵本コンクール」について、児童・生徒、関係者への一層の浸透を図るため、実施の周知を徹底するとともに、事前講習会の開催地域を拡大する。

(3) 「絵本の本棚」の作成・配付

子どもに読み聞かせる絵本選びの参考となるよう、絵本のテーマ展示に合わせて作成している「絵本の本棚」を引き続き作成し、市町村立図書館への配付とホームページ掲載を行う。

2. 学校との連携・協力

市町村立図書館と連携し、子どもの読書活動や学習活動を推進する上で学校図書館の活用が進むよう努める。

(取組方針)

(1) 山形県図書館協会の「子どもの読書活動推進事業」協会事業を着実に実施する。

- ① 学校図書館からの相談・問合せに対応する総合相談窓口の運営
- ② 学校図書館と公立図書館の関係者の情報交換会
- ③ 子ども読書関係者に対する研修会
- ④ 図書館ボランティア養成講座 等

(2) 教育に役立つ情報提供及び資料の貸出

市町村立図書館を通じて、調べ学習用セット資料の貸出や一括特別貸出の利用を促進する。

Ⅲ 他の図書館との協力・連携によるサービスの展開

1. 他の図書館やその他関係機関との連携・協力

県民が地元の図書館だけでなく、県内の他の市町村立図書館・県立図書館の資料を活用しやすくするため、市町村立図書館と連携・協力し、横断検索、相互貸借、インターネット予約貸出等の広域サービスの充実と県民に対する周知を図る。

(取組方針)

(1) 市町村立図書館との連携・協力

① 相互貸借及びインターネット予約貸出

市町村立図書館と協力し、県民への周知を図り、利用を促進する。

② 横断検索

巡回指導や実務者会議等を通じて、横断検索システム未参加の市町村立図書館に参加を働きかけ、又は参加の条件整備について助言を行う。

③ 一括特別貸出

一括特別貸出について、市町村立図書館に積極的に広報し、利用を促進する。

④ 協力学ファレンスの充実

市町村立図書館では対応困難なレファレンスについて協力を行うとともに、有用な情報源等参考となる情報について、ホームページの内容を充実し支援する。

2. 行政や各種団体との連携・協力

行政機関のイベント等の機会を活用し、県立図書館に対する関係者の理解を促進する。

(取組方針)

行政機関や各種団体の会議、講演会等において、県立図書館の関係資料の展示、図書館の活用方法に関する資料の配付等を行う。

IV 館の運営の改善の取組

1. 評価に基づく運営改善の取組

図書館法の改正により、公共図書館に運営状況の自己評価とそれに基づく運営改善が努力義務化されたことを踏まえ、評価に取り組む。

(取組方針)

試行的に図書館評価を実施する。図書館サービスに関する数値目標を定め、その達成状況について自己点検及び自己評価を行い、運営の改善に結びつける。

2. 職員の資質向上

県民視点に立ったサービスの一層の充実を図るため、職員の資質向上に向けた取組を強化する。

(取組方針)

接遇、レファレンス、新たなサービスの企画・提案、危機管理、著作権等に関する職員の資質の向上を図るため、館内研修を計画的に実施するとともに、職員の外部研修への派遣と伝達研修を積極的に行う。

3. 利用者の声の反映

利用者からの意見等は館の運営改善の参考とし、対応を真摯に検討する。

(取組方針)

投書又は各種調査により把握した館の運営に関する利用者・県民からの意見・要望に対しては、真摯に検討を行い、対応可能なものは速やかに実施するよう努める。
各種調査を通じて多数寄せられた意見・要望については、その対応状況をホームページ等で公開する。

2 平成24年度運営方針等について

(1) 運営方針(案)について

1 運営方針

(1) 県民の学習活動を支援する情報拠点として、県民ニーズの多様化や情報化の進展に的確に対応し、各地域社会の発展に寄与するため、市町村立図書館との連携を一層強化しながら、県立図書館が担うべき基本的な機能の充実を図る。

- ① 生涯学習情報センター的機能
- ② 総合的情報センター的機能
- ③ 県内公共図書館の中心館的機能
- ④ 地域の社会・文化センターとしての機能

(2) 読書のための図書・資料に関する情報とともに、図書館の実施事業・運営状況、地域の課題解決に資する情報等について、ホームページや報道機関を活用して県民に積極的に提供し、図書館の周知と利用の拡大を促進する。

(3) 図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、平成23年度に作成した「当面推進すべき重点施策」に沿って、館の運営に取り組む。

中でも、全県域の県民に対する広域的な図書館サービスの周知については、特に重点的に取り組む。

2 主な事業

(1) 資料の充実

県立図書館資料収集方針に基づき、特定分野に偏らない総合的な資料整備を基本に、時代の要請にも即応した資料の整備を進める。

市町村立図書館・大学図書館等との役割分担及び利用者ニーズなどを念頭に置きながら、資料の充実に努める。

(2) 円滑な利用者サービスの確保

利用者への円滑なサービスを確保するため、カウンター業務を担当する司書職員の職場研修の充実に努める。

また、館内の良好な読書環境の維持、醸成及び利用者の安全を確保するため、照明、換気等の室内環境に配慮するとともに、利用者マナーの遵守を呼びかける。

(3) 図書館活動等の広報

図書館運営の状況や各種イベント、展示等の情報について、ホームページ、図書館報等に掲載するとともに、報道機関に積極的に提供し、県民への周知を図る。

(4) 市町村立図書館（室）活動推進のための支援及び連携

インターネット予約と相互貸借の一層の利用を促進し、相互貸借等の図書館（室）間協力体制を強化しながら、県内の図書館ネットワークサービスの展開を図る。

(5) 県外図書館、官公庁、大学、各種団体等との連携

総合目録ネットワークシステムのデータ提供館として、引き続き所蔵データを提供していくことにより、全国ネットワークの一翼を担いながら、全国の図書館との相互貸借を推進する。

官公庁及び各種団体等が主催するシンポジウム等との相乗効果を得るため、その開催会場に出向き、関連資料を展示する。

(6) 調査相談（レファレンス）の充実

担当職員の研修の機会の確保に努め、レファレンス機能の強化を図る。

レファレンス事例についてホームページ等で広く紹介するとともに、レファレンスツールの充実を図り、利用者が必要な情報を自ら獲得できるよう支援する。

(7) 展示の充実

県民の読書に親しむ環境を醸成するため、春・秋の読書週間に合わせた企画展示、子供向け及び一般向けのテーマ別展示、その時々々の時宜に応じた展示等を実施する。

展示内容に関する県民の意見・要望や展示の効果等の把握・検討に努め、より県民に親しまれる図書館づくりを進める。

(8) 子どもの読書活動の推進

子どもの読書や図書館に対する理解と関心を高めるため、「手作り絵本コンクール」を開催する。

子どもに読み聞かせを行う際に絵本を選ぶ参考となる「絵本の本棚」を引き続き作成・配布し、読み聞かせ活動を支援する。

山形県図書館協会の事務局として、同協会が実施する「学校と公立図書館の連携による子どもの読書活動推進」の取組を効果的に実施する。

(2)事業計画について

<1 企画展示等>

1 企画展

① こどもの読書週間

『出発！のりもの絵本』

2012年は、日本に最初の鉄道が敷かれてから140年を迎える。また、東京駅と山形駅の間を新幹線が開業し、20周年を迎える節目の年である。

この節目の年にあわせ、日常生活になくはならない乗り物がどのように発達してきたのか、歴史や仕組みを通して、より乗り物が楽しめるように展示し紹介する。

期 日 平成24年4月17日(火)～5月13日(日)

場 所 山形県立図書館1F県人文庫前フロア

内 容 ・乗り物について書かれた絵本の展示
・乗り物の仕組みについて書かれた資料の展示
・山形県の鉄道に関する資料の展示

② 『ロンドンオリンピック、スポーツ特集』

2012年は、ロンドンオリンピックが開催されるため、これに関連する展示を行う。

時 期 平成24年7月

場 所 山形県立図書館1Fフロア

③ 『敬老の日 読書のすすめ』

“心ゆたかに生涯読書”を目標に、中・高年者に読書を楽しんでもらえるような本を紹介する。

時 期 平成24年9月

場 所 山形県立図書館1Fフロア

④ 秋の読書週間

『2012～2013 県内出版物展』

前年10月から1年間に出版された県内出版物(県人等の著書及び郷土資料)を展示し紹介する。

時 期 平成24年10月

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

⑤ 『若い人に贈る本』 『2012年文学賞等受賞作品』

春に向けて、新たな一步を踏み出す若い人に薦めたい本と、2012年文学賞等受賞作品を展示する。

時 期 平成25年2月

場 所 山形県立図書館1Fフロア

2 県政課題に関する展示

県政課題の中から利用者の関心が高いテーマを取り上げ、課題解決に役立つ資料を展示し紹介する。

時 期 通 年

場 所 山形県立図書館1Fフロア

① 『ビジネス支援』

働くことの意味や仕事・資格、就職・転職、起業など、「働くこと」に関する幅広い内容の本を年間を通して展示・紹介。

② 『くらしの道しるべ』

県政課題のうち、特に関心が高いと思われるテーマを半年間に1つずつ選定し、解決の参考となる図

書を展示。

前半は「健康・医療」、後半は「子育て支援」を予定。

3 児童、中高生等向け展示

①『雨の絵本』

雨がでてくる本や水の不思議を書いた本など、雨の日に読むと楽しい本を展示する。

時期 平成24年6月

場所 山形県立図書館2F児童書コーナー

②『なつやすみ特集』

読書感想文の課題図書、自由研究・工作に役立つ本を展示する。

時期 平成24年8月

場所 山形県立図書館2F児童書コーナー

③『山形県児童文学・絵本作家紹介コーナー』

山形県にゆかりのある児童文学、絵本作家の2010～2011年に出版された本を展示し紹介する。

時期 通年

場所 山形県立図書館2F児童書コーナー

④『ヤングアダルトおすすめ本』

ヤングアダルト向けの新着本を中心に展示し紹介する。

また、新着図書の中から数冊のおすすめ本を紹介するため、定期的にブックガイドを発行する。

時期 通年

場所 山形県立図書館1Fフロア

⑤『中学生職場体験実習から イマドキ中学生のおすすめ本』

図書館の職場体験実習の締めくくりとして、中学生が選んだおすすめ本を各自のコメントをつけて展示し紹介する。

時期 随時

場所 山形県立図書館1Fフロア

4. その他

出前展示

山形県などが実施するイベント事業などの会場に、関連する図書資料を持参して展示する。

<2 県立図書館読書活動推進事業費>

1 目的

読書活動は、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きるために欠くことのできないものであるが、特に子どものときに習慣化することにより、計り知れない効果が生まれるものと言われている。

また、本県では、平成 23 年 12 月に「山形県子ども読書活動推進計画（第 2 次）」を策定し、家庭・地域・学校の連携による様々な取組みを計画しているところである。

この事業は、絵本をきっかけとした取組みを展開することにより、本好きな子どもを育成し、子どもの読書活動を推進するための動機付けとすることを目的として、県立図書館が主催する事業である。

2 手づくり絵本コンクール（3 年計画の 2 年目）

県民から手づくり絵本の創作を募集し、審査により優秀作を選定・表彰することにより、読書意欲の推進を図る。

また、審査にあたっては、外部の学識経験者に委ねるとことで公正を期するとともに、各作品に対してプロの目からの助言を受けることにより応募者の励みとなることを期待する。

加えて、最優秀作品は、製本のうえ県立図書館や県内の公共図書館の蔵書として活用することで、子ども読書活動推進を側面から支援する。

(1) 応募・選考

- ① 募集の時期 夏休み期間中の作品づくりを想定
- ② 応募の条件 県内在住の幼児から高校生まで
自由テーマ（創作したお話と絵、自作未発表のもの）
- ③ 作品の規定 サイズ： A5 判以上 A3 判以内
ページ数： 8 ページ以上 20 ページ以内
折込みや貼付けは禁止する
- ④ 選考審査 外部有識者による選考審査とする

(2) 表彰 優秀作には、表彰状及び賞品を授与して顕彰する。

(3) 講習会の開催

コンクールの普及 PR 及び子どもたちの作品づくりを支援するために、「絵本づくり講習会」を開催する。講習会は、前回の反省を踏まえ、開催場所を県内 1 箇所から 4 箇所に増やして実施する。

(4) 優秀作の発表

手づくり絵本コンクール優秀作は、館内に展示コーナーを設けて顕彰する。

また、最優秀作品は、別に発表の場を設けて作者自身による読み聞かせを行うとともに、印刷製本のうえ県立図書館や県内公共図書館等に配備し、蔵書として活用する。

(3) 予算案について

平成24年度当初予算額は、9,893万4千円で、前年度比13.9%の減である。
減額の主な理由は、コンピュータ等賃借料・保守料の減、郷土図書書誌情報等充実事業の廃止などである。
図書資料整備充実費は、前年度同額の2,583万円である。

平成24年度 県立図書館予算(案)

単位：千円

	平成23年度 (当初)	平成24年度 (当初)	前年比	主な事業
県立図書館協会 会費	201	193	96.0%	協議会開催経費
県立図書館運営 費	68,391	59,354	86.8%	遊学館管理運営経費、システム経費等
図書資料整備充 実事業費	25,830	25,830	100.0%	図書、雑誌、視聴覚資料購入 費等
奉仕活動事業費	2,801	2,662	95.0%	製本委託、相互貸借等
資料確認整備事 業費	9,908	10,007	101.0%	緊急雇用対策賃金等
郷土図書書誌情 報等充実事業費	6,841	0	0.0%	緊急雇用対策賃金等
読書活動総合推 進事業費	999	888	88.9%	手づくり絵本コンクール等
合 計	114,971	98,934	86.1%	

3 その他 <平成23年度山形県図書館協会事業>

(1) 平成23年度 第31回山形県図書館研究大会

期 日：平成23年10月7日（金）

場 所：鶴岡市 出羽庄内国際村

テーマ：公共図書館と学校図書館の連携を考える

内 容：表彰式 平成23年度山形県図書館協会事業功労者表彰 9名

講 演 「藤沢文学を育んだ風土 ー私的体験を通して思うことー」

講師 郷土文学研究家 東山昭子氏

活動事例発表 大型紙芝居 「庄内おばこ物語」

図書ボランティア 羽黒出羽路会

鼎 談 「公共図書館と学校図書館の連携について 鶴岡市を例として」

鶴岡市立図書館協議会 委員長 樋渡美智子氏

田川学校教育研究会図書館教育専門部長（小学校）

鶴岡市立由良小学校校長 遠藤知子氏

鶴岡市立図書館 図書専門員 新宮久美氏

参加者数：200名

(2) 子どもの読書活動推進計画に基づく諸事業の展開

① 図書館利用ハンドブック(共通の雛形)の作成・配布

学校図書館向け支援策の周知に資するため、図書館サービスPRのためのリーフレット雛形「公共図書館利用の手引き」、図書に関する学校からの問合せ等に対応するための事例雛形集「公共図書館利用ハンドブック」を作成し、11月25日付けで各公立図書館に配布した。

② 学校図書館からの問合せ総合窓口の設置・運用

学校図書館からの問合せ等に対応するため、県立図書館企画課に総合窓口を設置し、8月31日付けで各学校や公立図書館に通知した。 開設時間帯 火曜日～金曜日 8:30～17:15

③ ヤングアダルト推薦本リスト等の作成・配布

各公立図書館からヤングアダルト推薦本の情報を収集のうえリストを作成し、9月20日付けで各学校や公立図書館に配布した。 推薦本数 485点

④ ヤングアダルト講座の開催

公共図書館関係者と学校図書館関係者が合同で受講できる講座として「ヤングアダルト講座」を開催した。

・日時及び会場 平成23年9月22日 13:30～15:30 「遊学館」第1研修室

・内 容 ヤングアダルトの特性、図書館としての配慮、読書普及活動の実例 など

・講 師 県外講師 田沼恵美子氏 (財)東京子ども図書館推薦

・参加者 公立図書館職員、学校司書、ボランティア団体など72人